



キングソフト 様

Gluegent Flowの導入により、いつでも、どこからでも申請、承認が可能になり、業務処理のスピードアップを実現！



無料セキュリティソフトやオフィスソフトを展開しているキングソフト、中国の大手IT企業とのジョイントベンチャーとして設立後、日本法人独自で様々な企業との事業提携、協業を行い、近年はスマートフォン分野に進出している。法人向け社内コミュニケーションアプリや名刺管理アプリ、Android向けクリーナーアプリなどのサービス提供を行っており、モバイル広告事業にも本格参入した。Google Apps for Workの導入とともにGoogle Apps for Workと連携したGluegent Flowを導入し、承認スピードの向上を実現した。

◇ Company Information

会社名：
キングソフト株式会社
設立：2005年3月9日
所在地：東京都港区
事業内容
キングソフト株式会社は2005年、中国の大手IT企業『KINGSOFT CORPORATION』のジョイントベンチャーとして設立。日中の高度な技術力を結集し、無料セキュリティソフトや総合オフィスソフト「KINGSOFT Office」、名刺認識・管理アプリ「CAMCARD」などの様々なソフトウェア、サービスを展開。



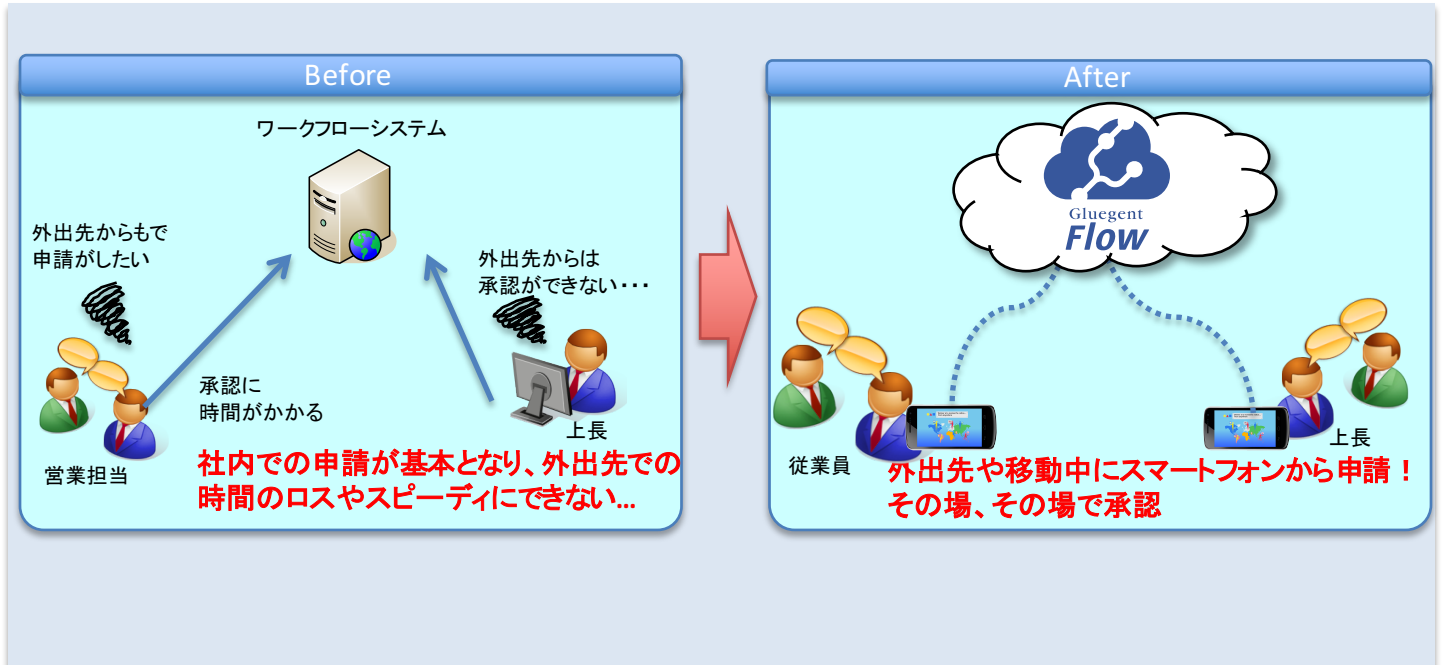
サイボウズガルーンからの切替えに伴いワークフローシステムを導入を検討

無料セキュリティソフトやオフィスソフトを展開しているキングソフト、中国の大手IT企業とのジョイントベンチャーとして設立後、日本法人独自で様々な企業との事業提携、協業を行い、日中の高度な技術力を結集し、無料セキュリティソフトや総合オフィスソフト「KINGSOFT Office」、名刺認識・管理アプリ「CAMCARD」などの様々なソフトウェア、サービスを展開している。またモバイル広告事業にも本格参入した。以前はキングソフトグループとしては、オンプレミスのメールシステムを利用していたがクラウド型のプロダクトにリプレイスすることに決定し、「Google Apps for Work」の導入を行った。

もともとグループウェアは「サイボウズガルーン」を利用していたが、Google Apps for Workへの移行と同時に変更の検討を開始した。ワークフローシステムについては、サイボウズガルーンのワークフロー機能とExcelなどのフォーマットを利用した紙ベースで利用を併用していた。「Google Apps for Workとアカウントなどが連携して利用出来るサービスを検討していた」と語るのは、管理部 社内ITグループマネージャーの海野氏である。そんな中Google Apps for Workの導入をお手伝いしてもらった企業からの紹介で知ったのが「Gluegent Flow」である。

ワークフロー及び紙ベースの申請をGluegent Flowに一括移行を実現

Gluegent Flowを活用し、今までサイボウズガルーンで行っていたワークフローと経理上の支払い依頼や経費精算などをExcelなどで作成し、印刷して申請を行っていたものをGoogle Apps for Workのアカウントを利用して使えるようにした。サイボウズガルーンでは、申請モデルは数多くあり、60本近くあったが、Gluegent Flowの導入時に約30本に統廃合し、グループ会社それぞれの申請モデルを一元管理して作成を行った。またGluegent Flowの導入前まではExcelなどのフォーマットを利用してメール添付して申請を行っていた支払い依頼書、経費精算書については、Gluegent Flowに移行することで、全ての申請情報をGluegent Flowで統一して行うことを実現した。



➡ 3ヶ月でほぼ導入完了。
しかもほぼ自社のメンバーでの導入

導入は、2014年8月から着手し、3ヶ月でほぼ完成し、2014年10月から本稼働を開始することができた。管理コンソールの利用のしやすさもあり、製品講習会を実施するのみで、導入支援をグルージェントに依頼することなく利用できるようになった。評価時から利用を重ねており、簡単な承認プロセスのサンプルを評価と共に作ってみたところ、とても容易に構築することができた。申請モデルの統廃合に時間がかかったが、導入当初にサンプルを作成し、プレビュー画面を通して確認しながら進めていった。「導入時においてほとんどトラブルはなく、グルージェントが提供するサポートサービスである「クラウドコンシェルジュ」を利用しながらほぼ構築できた」と海野氏は語る。

➡ 営業職などの外出の多い社員はスマートデバイスからの申請、承認が場所・時間を問わず可能に

キングソフトでは社員の半分以上が営業職ということもあり、日中は社外にすることが多い。また営業職の人間は「見積もり承認依頼」、「発注承認依頼」などの申請業務が毎日発生するため、ワークフローの利用頻度は非常に高い。Gluegent Flowの導入前までは、社内に戻ってからパソコンで入力することが多く、外出時にどうしても申請が必要な場合はパソコンを開いてVPN接続行っ、社内ネットワークに入ってから申請を行う必要があった。Gluegent Flowでは、PCもさることながら、iOS、アンドロイドなどのスマートデバイスでも利用が出来るため、外出時の移動中などに申請及び承認が可能になった。「Gluegent Flowを導入したことにより、営業職の社員は、モバイルからの入力が可能になり、格段に業務効率がかわったことが Gluegent Flowを導入した大きなメリットの一つである」と海野氏は語る。

➡ 申請モデルの整理を行いながらよりコンパクトにし、無駄のない業務を実現へ

Gluegent FlowをGoogle Apps for Workの導入とともに導入したことで、ワークスタイルが大きく変わり、業務効率も上がってきてはいる。「導入後安定しているが、キングソフト自体は常に新たなビジネスを模索して、変化していく会社なので、今後は申請モデルを整理を行いながらコンパクトにして無駄のない業務システムにしていきたい」と海野氏は語る。